

「特集」
令和3年度決算



テレワークブースを利用する信州大学
大学院の学生【エス・バード(座光寺)】

令和3年度、市内のテレワーク拠点であるエス・バードのコワーキングスペースに、地方創生テレワーク交付金を活用して、オンラインでの仕事や学習に利用できるブースなどを整備しました。

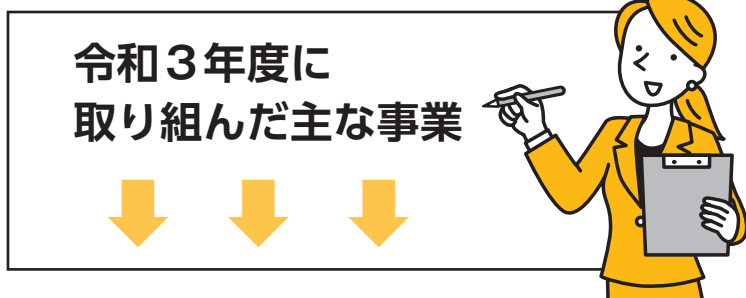
令和3年度 決算

市民の皆さんに納めていただいた税金や、国や県からの支援がどのくらいあり、その財源が何に使われたのか、その概要をお知らせします。

●問い合わせ／財政課 財政係 内線2131

HP [令和3年度決算](#) 🔍 検索 ID [75303](#) 🔍 検索

※令和3年度決算の概要は、市ウェブサイトでもご覧いただけます。



令和3年度に
取り組んだ主な事業



新型コロナウイルス感染症緊急対策事業

- 事業費総額……41億4,555万円
- 【経済対策】…32億3,937万円 【感染対策】…9億618万円



●主な 経済対策 事業

事業名	決算額	事業の概要
子育て世帯への臨時特別給付金支援事業	15億2,044万円	子育て世帯に子ども一人当たり10万円を給付 ※全国一律
住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付事業	6億7,240万円	住民税非課税世帯等に一世帯10万円を給付 ※全国一律
★市独自 テイクアウト・地域内経済循環支援事業	2億4,471万円	飲食店などへの支援と地域消費に向けたプレミアム割引クーポンの発行
★市独自 お買いもの商品券事業	1億9,988万円	3,000円分の商品券を2,000円で販売 (住民税非課税世帯には一世帯1冊を無償で配布)
★市独自 第6波対応事業者支援交付金	7,193万円	第6波の大きな影響を受けた事業者に10万円を交付
★市独自 信州飯田もっと安心なお店補助金	1,859万円	対面で商品の販売やサービスの提供を行う市内事業者が取り組む感染対策に補助金を交付

●主な 感染対策 事業

事業名	決算額	事業の概要
★市独自 簡易検査キットを用いた感染予防対策事業	1億8,287万円	市民や社会福祉施設などへ簡易検査キットを無料配布
★飯田下伊那独自 地域外来・検査センター運営事業	4,234万円	新型コロナウイルス感染症に関する検査をする「地域外来・検査センター」を開設・運営



子育て環境・教育環境の充実



- 不妊治療への助成拡大……1,614万円
- 子どもたちが早くから本に親しめる環境づくり（セカンドブック事業）……122万円
- 郷土を代表する文化芸術に触れる機会の創出（菱田春草没後110年展）……2,277万円



ゼロカーボンシティを目指した取組



- 再生可能エネルギーの域産域消の推進
（おひさまエネルギー、もりエネルギー推進事業補助金）……2,150万円



地域経済の再生・地域内経済循環の促進



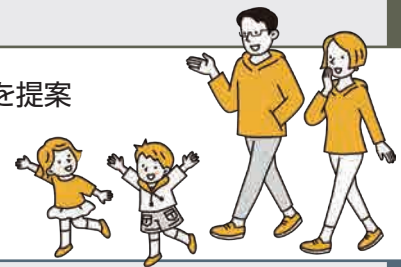
- サテライトオフィス等開設費用補助事業等による企業誘致の促進……766万円
- 遊休荒廃農地の有効活用（農地耕作条件改善事業）……77万円



ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた観光振興



- 中心市街地の飲食・土産提供機能を生かしたまち歩きと新たな旅の形態を提案
（まちなか周遊型観光振興事業）……112万円
- エコ登山の推進（山岳文化推進事業）……100万円



リニア・三遠南信時代を支える基盤整備



- リニア駅周辺整備と代替地の整備……14億9,723万円



安心・安全な暮らしの支援



- 教育環境の整備……2億7,166万円
 - ◆小学校の照明をLED化…2,514万円
 - ◆中学校の照明をLED化…2,090万円
 - ◆中学校特別教室の空調整備…2億2,562万円
- 地域の防災への意識を高めるための啓発（三六災害60年防災意識啓発事業）……99万円
- 通学路や生活道路の安全対策と防災対策……9億869万円



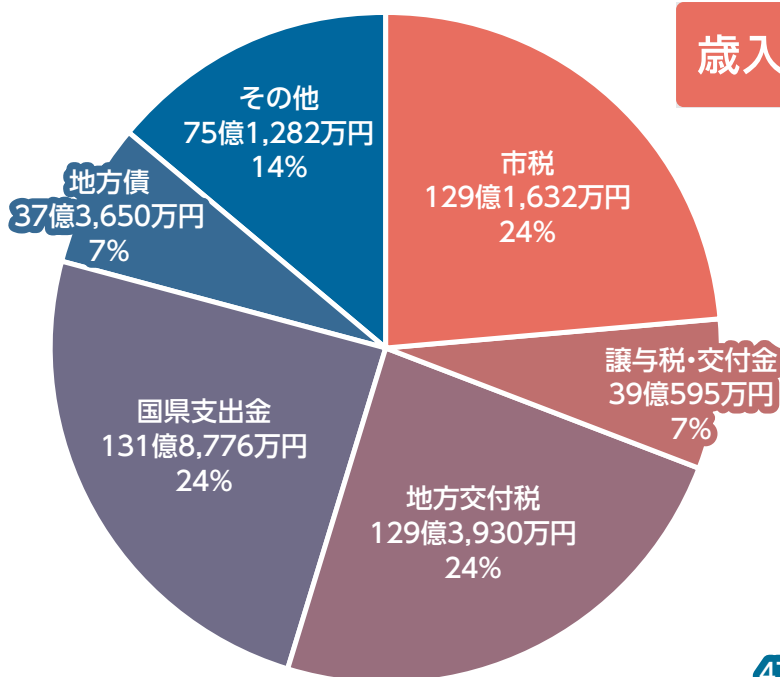
セカンドブック事業



通学路の安全対策
グリーンベルトの設置

普通会計の決算

(補足) 市では、一般会計、墓地事業特別会計、ケーブルテレビ放送事業特別会計を合わせたものを「普通会計」としています。



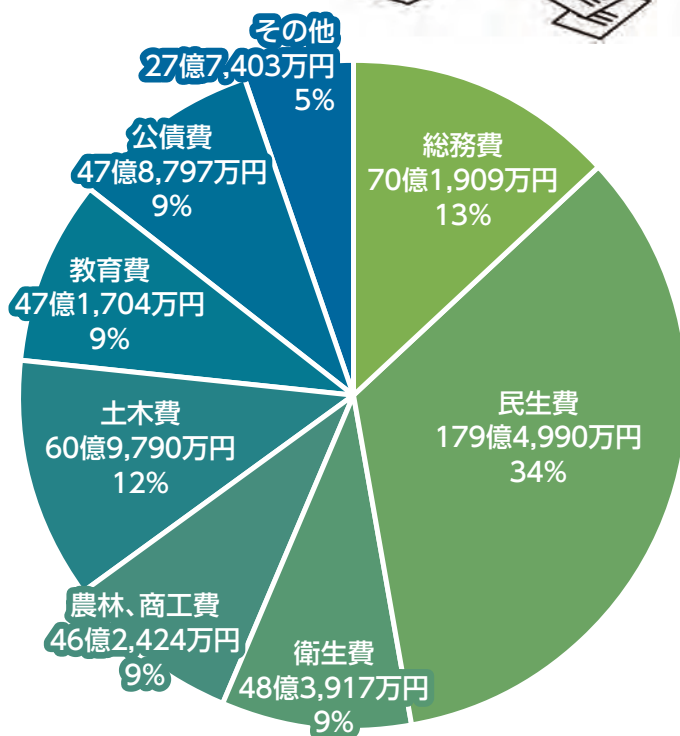
歳入 541億9,865万円

(前年度 599億4,042万円)



528億934万円 歳出

(前年度 587億9,512万円)



令和2年度に引き続き、決算規模は大きくなりました

令和3年度は、評価替えによる固定資産税の減額などによって市税の収入は減りましたが、国から地方交付税の追加交付があったことなどから、歳入が19億3,500万円余の大幅増となりました。

歳出は令和2年度に実施した特別定額給付金の事業費が大幅減となりましたが、子育て世帯や住民税非課税世帯への給付金などを実施したこと、また、庁舎建設基金を公共施設整備基金に積み替えたことから、過去2番目の決算規模となりました(令和2年度が過去最大)。

令和3年度の収支は9億5,399万円の黒字となりました。返済時に交付税の手当がない(全額市が負担する)市債の発行を抑え、災害などの急な支出や将来の支出に備えるための「財政調整基金」に7億8,000万円余を積み立てました。



健全な財政運営を継続します

令和3年度、新たに策定した「飯田市行財政改革大綱に基づく実行計画」では、令和10年度末時点の市債（借金）の残高と基金（貯金）の残高に財政運営目標を設定しました。本格化するリニア関連事業や新文化会館の整備などの大規模事業に対応できるよう、基金や市債を効果的に活用しながら、行財政改革の取り組みを続けていきます。



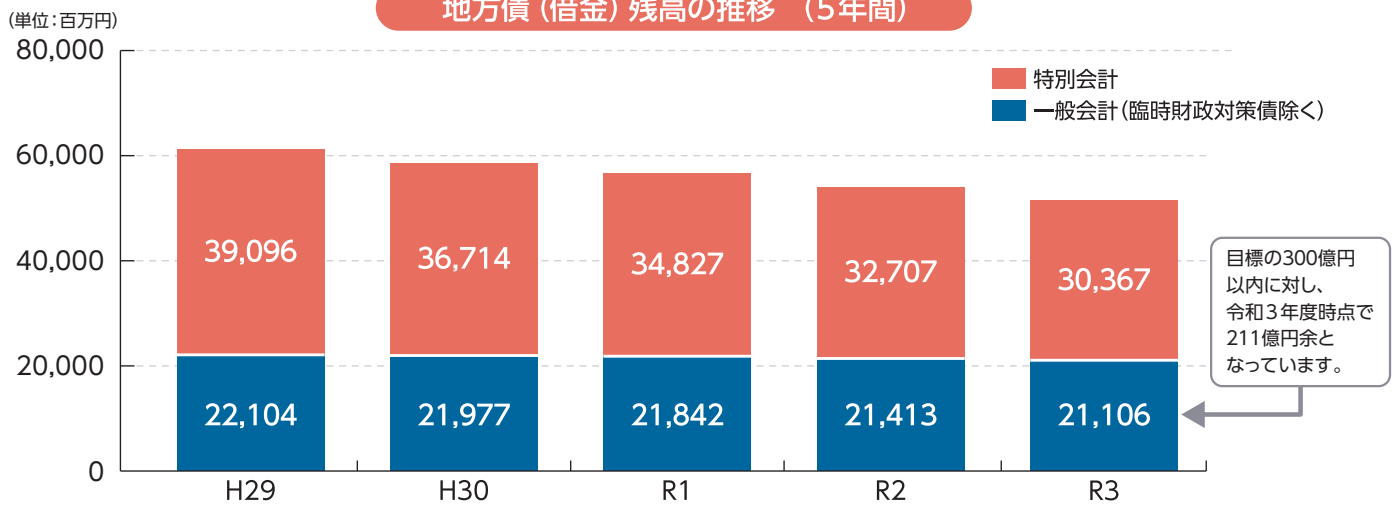
市債残高の推移（全会計）

★財政運営目標

令和10年度末の一般会計市債残高（臨時財政対策債※を除く）を300億円以内に抑制

※臨時財政対策債とは、交付税の財源不足を補うために発行する市債ですが、返済には後年度に交付税の手当てがあるため、実質的には市の負担はありません。

地方債（借金）残高の推移（5年間）



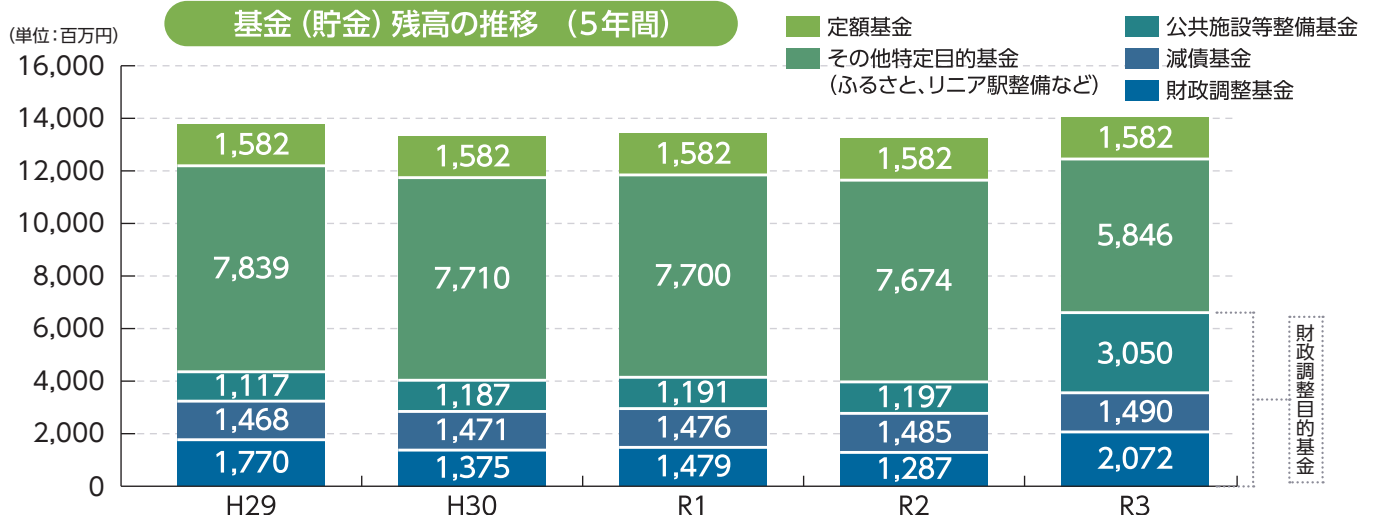
基金残高の推移（普通会計）

★財政運営目標

令和10年度末の財政調整目的基金(※)残高を27億円程度確保

※市では、**財政調整基金**、**減債基金**、**公共施設等整備基金**のことを指し、令和3年度末時点で66億円余の残高となっています。

基金（貯金）残高の推移（5年間）



財政運営目標の達成に向け、実質公債費比率を15%未満(令和3年度7.5%)に、将来負担比率を100%未満(同22.8%)に抑制できるよう留意してまいります。

飯田西中学校防災学習 被災に備えて実技を学ぶ



地元の方から防災用品の使い方を学ぶ

飯田西中学校の1年生72名が8月23日から2日間、避難所生活を想定した防災学習を行いました。

羽場地区自主防災会の皆さんから防災倉庫の備蓄品の使い方などを学びました。また、飯田女子短期大学の皆さんから、調理器具を汚さず、簡単に衛生的に調理でき、温かい食事ができることなどが特長の「パッククッキング」も教わりました。



食材に直接触れることなく作る野菜スープ

AVIAMA総会 活気に満ちた国際会議



春川とオンラインで繋がって参加する佐藤市長

人形劇を支援する世界各国の都市で構成する「AVIAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)」の総会が8月26日から2日間、韓国の春川^{チュンチョン}で開催され、活動報告のほか、今後の方針などを協議しました。

美術博物館展示 遺物に見る城下町飯田



城下町として栄えていた当時の物を多数展示

今年は、堀親昌^{ほりちかまさ}が飯田入りして350年、城下町の基礎を築いた京極高知^{きょうごくたかとも}の没後400年の節目です。美術博物館では11月6日まで、「城下町飯田と飯田藩」と題して特別展を開催しています。



家族で発掘たいけん教室 縄文人の知恵に触れて

4,000年以上前の縄文土器を見事に発掘
市教育委員会は8月27日、上郷黒田の「黒田大明神原B遺跡」で発掘の体験教室を開催しました。

参加した市内の小学6年生とその保護者は、時を忘れるほど発掘に夢中となり、数多くの土器や石器のほか、黒曜石のかけらを掘り出しました。

4,000年から5,000年ほど前の縄文時代のものが発掘され、参加者から「古代の人と接した気分になった。」と感動の声が上がりました。



掘り方のコツを聞きながら発掘に挑戦

シェイクアウト訓練 身を守ることが最優先



地震発生時は直ちにダンゴムシのポーズで自身の安全確保
市内の保育所、認定こども園や小中学校では、シェイクアウト訓練が行われました。

緊急地震速報の訓練放送が流れると、机の下にもぐり、身の守り方を確認しました。

スマートグラス活用講座 高校生を講師に開催



スマートグラスを使ったまち歩きなどを模索
飯田OIDE長姫高校商業科の3年生が、セイコーエプソン株式会社などの企業と共に講座を開き、眼鏡のレンズ部分がバーチャル映像を映し出す「スマートグラス」の有用性を市の職員に伝えました。

現代版 養生訓

じゅうかくしゅよう
縦隔腫瘍とは



呼吸器外科
とみなが よしあき
富永 義明 医師

呼吸器外科で手術治療を行う対象に「縦隔腫瘍」という分野があります。縦隔腫瘍とは、その名のとおり縦隔に生じる腫瘍を指します。「縦隔」とは特定の臓器の名称ではありません。左右の肺に挟まれた空間で、心臓、大動脈、気管、食道、胸腺などの重要な臓器が存在する場所を指します。このうち、胸腺、心膜、胸膜、神経、リンパ節、脂肪組織などから発生する腫瘍や嚢胞性病変を縦隔腫瘍として治療を行っています。

また、神経原性腫瘍や縦隔内甲状腺腫もほとんどが良性です。その一方、CT検査で発見される腫瘍の約20%は悪性で、胸腺がん、胸腺カルチノイド、胚細胞性腫瘍、リンパ腫などがあります。最も頻度の高い胸腺腫は、がんではないものの、転移や隣接臓器に浸潤することがあり、中等度の悪性腫瘍として扱います。また、胸腺腫は「重症筋無力症」という難病を合併することがあります。

ほとんどの縦隔腫瘍が診断と治療を兼ねて、手術治療の対象となります。多くは胸腔鏡で手術できますが、血管などへの浸潤が疑われる場合は、胸骨を切断する開胸手術が必要です。悪性腫瘍の場合は、進行度や組織型に応じて手術後に放射線治療や化学療法などを追加することがあります。

大掛かりな治療とならないよう、早めのがん検診を心掛けましょう。

縦隔腫瘍は胸部レントゲンでは早期発見が難しく、

多くがCT検査で偶然発見されています。良性の腫瘍が多い傾向で、胸腺嚢胞、気管支嚢胞、心膜嚢胞などの嚢胞性病変は良性です。

たとえ良性腫瘍であっても、放置して増大すると気管や食道、心臓、神経などが圧迫されて、さまざまな

症状（咳、息苦しさ、声のかすれ、顔のむくみ、眼瞼下垂、発汗の異常など）が現れることがあります。



飯田市立病院
〒395-8502 飯田市八幡町438
TEL.0265-21-1255

Vol.0021

市長室から

市長 佐藤 健

自分への約束



待ジャパン栗山英樹監督が飯田に野球教室においてになった際、御指導を受ける機会を得た次男（小6）は、以前からファンであったところに拍車がかかり、私との「寝る前読書」でも栗山監督の著書「栗山ノート」（光文社）を読むことになりました。

栗山監督は、毎日の出来事や試合の反省とともに、中国の古典や経営者らの言葉の中から「これは」と思うものをノートに書き留めているのだそうですが、それを本にまとめたのが同著です。

私ももちよつと難しい内容、しかも、次男本人は文字を見ない「読み聞かせ」ですので、すぐに嫌になってしまふだろうと思っ

たのですが、あにはからんや、ついに最後まで読み（聴き）通しました。

栗山監督が取り上げた言葉の中で次男が一番気に入ったのは、吉田松陰の「人間たるもの、自分への約束を破る者がもつともくだらぬ」だとのこと。「四書五経」などからの引用に比べて分かりやすい言葉だったということもあるのですが、自分でやるよ決めながら出来ないことがたくさんあることに思い至り、ハッとしたのではないかと思えます。

栗山監督は、その松陰の言葉を引用した項で、新入団選手に本を贈り、その本の余白に「自分の人生の約束」を書いて持ってくるように言った、というエピソードを紹介しています。

私も、市長になった頃の初心を忘れぬようにせねば、と思ったことでした。

学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.93

地域活性化の鍵

立命館アジア太平洋大学 2年

青野 夏夕さん (富山県射水市出身)

4日間の実習を通して、「地域のためにできることを行おう。」というムトスの精神が、飯田市のまちづくりに大きな影響を与えていると感じました。また、飯田市らしさを大切にすることが市民の方々の飯田市への愛着や、活動への積極的な参加に繋がっているのだと考えました。

今回見学した公民館活動では、市民協働によるまちづくりが徹底されていると感じました。地域イベントの企画や運営に市民の方々が携わることで、伝統芸能や特産物を生かしたまちづくりに地域一体となって取り組めるのだと思いました。

私は、以前から地域の活性化に興味があり、過疎化が進む地域の活性化には、ショッピングモールなどの新規商業施設の開発や、観光娯楽施設の増設が不可欠であると考えていました。そのため、市長講義で聴いた「目指すべきは上質なローカルである。」という佐藤市長の言葉が印象に残っています。単に都市的なものを追い求めるのではなく、その地域の自然風土や文化、先人の方々が築いてきた暮らしの豊かさなどを守ることが重要であることを学ぶことができました。



中信州・飯田フィールドスタジアム



先月の
久保田守道さん(三穂)
からのリレー



今がんばっていること

牧内 萌さん (川路)

私は文学作品、特に近代文学作品が好きです。元々読書が好きでしたが、近代文学作品は難しそうと思っており、読んでいませんでした。しかし、高校の模擬試験で志賀直哉の『荒絹』と言う作品の一部を読んだ際、「この短い文章でここまで人を話に引き込むことができるのか」と感動したことをきっかけに、近代文学作品が好きになっていきました。

今ではただ文章やストーリーを楽しむだけでなく、何度も読み返して深く読み込み、作者の考えや思いを想像することを楽しんで読んでいます。そして、少しでも多くの作品を読み、自分にはない考えに触れてみたいと思っています。

毎月市民の皆さんに、

- ① 私の健康法
 - ② 感動したこと
 - ③ 今がんばっていること
 - ④ まちづくりへの提言
- 以上の項目から選んで語っていただき、次の方にボタンタッチする「リレートーク」です。次はあなたの番かも…



園原 和来さん
(三穂小学校6年)

好きなことをずっと続けたい

私のしょう来の夢は、パティシエです。

私は、保育園のころから料理やおかし作りが好きで、よくお母さんのお手伝いをしていました。

今でも料理やおかし作りは好きです。

この好きなことをずっと続けていきたいので、私はパティシエになりたいと思いました。

自分がパティシエになって、親たちに今までの感謝ができると思います。なので私は、しょう来パティシエになりたいと思いました。